

Himeji Dokkyo University Alumni Association



Vol. **42** 2025.5.1.

姫路獨協大学同窓会報

2025年度 獨楽会総会・交流会

● 日時

2025年6月7日(土)

総会 11:30～受付

12:00～開始

交流会 13:00～開始

● 会場

姫路キャッスル
グランヴィリオホテル
2階 松竹の間

● 会費

交流会 **3,000円**

但し、2025年3月卒業・修了の
新会員は**無料**

また、同窓生子女も**無料**

獨楽会Facebook



獨楽会

姫路獨協大学同窓会事務局

〒670-8524 姫路市上大野7-2-1

TEL & FAX : 079-223-9263

E-mail : honbu@hdud.gr.jp

URL : <https://www.hdud.gr.jp>



キャリアセンター



就職課のほうが馴染みある同窓生の皆様もいらっしゃるかもしれません。講義棟内のキャリアセンターについて、お知らせ致します。

キャリアセンターでは、就職を希望する学生一人ひとりが自分の強みを見付け、社会で活躍出来る人材へと成長が叶うよう、様々な支援を行なっています。

まず、自己分析や業界研究・職種理解を深める為の講義を開講し、学生が自分に合った進路を見付ける手助けをしています。また、就職活動に必要なエントリーシートや履歴書の作成・面接対策等、実践的な支援を通じて、学生が自信を持って企業と向き合えるようサポートしています。

更に、社会・企業との連携を深め、インターンシップや学内での合同企業説明会を積極的に提供しています。これにより、学生は実際の社会を通じ企業現場を体験し、業界についての理解を深める事が出来ています。

加えて、自己成長を促す為の資格講座も提供し、学生が社会で必要なスキルが身に付けられるようにも支援しています。

キャリアセンターは、学生が自信を持ち未来に向けて一步を踏み出せるよう、全力でサポートしています。このような支援を通じて、学生には社会人基礎力（「前に踏み出す力」・「考え抜く力」・「チームで働く力」）を備えた人材へと成長して欲しいと心から願っています。そして、卒業後には、どのような環境下でも自分らしく活躍し、社会貢献出来る人材として活躍する事を期待しています。

後輩も活躍しておりますので、先輩方にも温かいサポートをお願い致します。

全国初

大学キャンパスを舞台にした

“期間限定 キッズニア”

「^{アウト} ^{オブ} ^{キッズニア} of KidZania in ^{HIME} ^{DOKU} 姫路獨協大学」を開催！

こどもの職業・社会体験施設「キッズニア」の企画・運営を行なうKCJ GROUP株式会社による監修の下、小・中学生を対象としたキッズニアが街を飛び出して実社会の仕事が体験出来るプログラム「Out of KidZania in 姫路獨協大学」（以下、本イベント）を2日間にわたり開催しました！

「Out of KidZania」が大学キャンパスのみで開催されるのは、「全国初」の取り組みです。

姫路獨協大学とKCJ GROUPは、本イベントを通じて、こども達が総合大学の雰囲気を知り、大学で学ぶ事の意義や楽しさを感じるとともに、今まで意識しなかった仕事や社会の繋がりへの興味関心を高め、将来の職業選択のきっかけになる事を願い、「理学療法士」や「臨床工学技士」、「作業療法士」・「言語聴覚士」・「看護師」等の医療系の仕事体験の他、全17種類の仕事体験を用意しました。

こども達は同じ仕事をする「職場の後輩」として迎え入れられ、また担当するスタッフはこども達の「ちょっと先輩」という設定の中始まった「Out of KidZania in 姫路獨協大学」。

参加した小学1年生から中学3年生までのこども達は白衣に袖を通し、手術室を模した本格的なオペ室で普段触れる事の出来ない医療機器に触れて貰いました。そして、利き手側半身麻痺の患者役になったり、出来るだけその人らしい生活が叶うように手助けする専門家になったり、また、本と人を繋ぐ図書館司書になったりと、“働く”事について様々な“気づき”に触れられる時間となりました。

また、働いて得た給料で買い物を楽しむ等、社会のしくみも学びました。

このように姫路獨協大学は、キャンパス内外の施設を活用した公開講座の実施や、地元企業とコラボレーションをしたイベント運営等、「地域に根差した大学」として地域住民・地域企業と連携し、さまざまな取り組みを進めています。



株式会社ノバック



姫路獨協大学
医療保健学部 作業療法学科



西兵庫信用金庫

活躍する 同窓生

私にとって姫路獨協大学での学生生活は、学びの場であると同時に、試練と成長のステージでもありました。

大学2年次、私は更に海外へ留学する事を夢見ていました。しかし、突如として世界を覆ったコロナ禍によって、その夢は儚くも消え去りました。社会全体が混乱する中で、私自身もまた、将来への不安と喪失感に苛まれる日々を過ごしました。あの時の私は、人生で最も暗い時期を迎えていたと言っても過言ではありません。

しかし、その苦境に屈することなく、新たな道を模索し続けました。その結果として、大学院への進学を決意し、更に知識を深める機会を得る事が出来ました。当時は「失ったもの」の大きさばかりが目につきましたが、振り返ってみれば、むしろ「得たもの」のほうが遥かに多かったのです。逆境の中で培った適応力と忍耐力は、私の中に確かな自信となって根付きました。

現在、私は関西エアポートリテールサービス株式会社に勤務し、免税店運営に携わっています。世界中の人々が行き交う空港という舞台上、多様な価値観に触れながら仕事に取り組める事は、大きなやりがいとなっています。

母校での学びは、単なる知識の習得に留まらず、人生の困難を乗り越える力をも私に与えてくれました。どんな状況でも前を向き、挑戦を続ける大切さを胸に、今後も邁進して参りたいと思います。



外国語学部 2022年3月卒業・言語教育研究科 2024年3月修了 周 洋さん



卒業後、近畿日本鉄道株式会社に入社し、約1年半に亘り駅員として勤務しました。その後2016年12月から車掌として乗務、2023年9月からは運転士として勤務しています。

大学2年次で履修したキャリア関係の授業をきっかけに、オープンキャンパスのスタッフを務めたり、大学祭でゲームコーナーを運営したりしました。友人や先輩、先生方や職員の方々の協力を得ながら、様々な学校行事やイベントに参加出来た事は、大きな思い出となっています。

中でも特に印象に残っているのは、私自身が企画・立案し、実行した「全学部対抗クイズ大会」です。

浦山剛史先生がクイズの際に使う早押しボタンをお持ちだと知り、「これを活用して全学部対抗の大会が出来ないか？」と考えたのがきっかけでした。そこから企画書を作成し、大会を実施。もちろん、運営には課題もありましたが、ゼロから企画し、形にする経験が出来た事は、今でも貴重な財産となっています。

現在は結婚し、一児の父として家庭を持ちながら日々を過ごしています。振り返ってみると、大学時代は本当に楽しかったと感じています。これからも、安全第一で仕事に励みながら、プライベートも充実させていきたいと思っています。

経済情報学部 2015年3月卒業 宇奈手 翔真さん

入学後、すぐに新型コロナウイルスの影響で授業や部活動がオンラインに切り替わり、戸惑ったのをよく覚えています。

大学では、国際言語文化学類日本語教育・日本文化コースを専攻しており、渡邊志津子先生のゼミで古典文学について勉強しました。4年次には、日本語教育・日本文化コース最後の学生としてマンツーマンで授業をして頂き、沢山の知識を蓄える事が叶いました。姫路獨協大学で得た知識は、旅行先、神社やお寺等、ふとした瞬間に役立ち、今まで素通りしていた景色を面白く感じさせるものになりました。

サークル活動では、軽音楽部に所属し部長を任されました。楽しい事もありましたが、コロナ禍でもあり、活動が難しく悔しい思いもしました。しかし、卒業してからもサークルの先輩との繋がりは続いており、ライブに呼んで頂き、バンド活動をする事が出来ています。姫路獨協大学に通っていなかったら、繋がる事がなかった縁なので、大変感謝しています。

卒業後は三輪運輸工業株式会社に就職し、神戸製鋼所内で自分の背丈よりも大きいタイヤのトラックを運転しています。入社2年目、これから姫路獨協大学で学んだ事が活かせるよう、引き続き頑張っていきたいと思えます。



人間社会学群 2024年3月卒業 松田 海斗さん



卒業から早30年！三菱ふそうという商用車製造販売企業で支店長を務めております。アルバイト中心で思う存分羽を伸ばし、決して模範的な学生とは言えませんが、大学近くの寿司屋で3年半働いた経験は、現在、非常に役立っております。カウンター越しに様々なお客様と会話する中で、聴き上手の手法をマスター出来た事は、大きな財産です。

今回、志湧祭の『はたらく車とはたらく犬』ブースに、弊社の電気トラックを出展させて頂いた契機での投稿です。子供の引率で、人工芝が整備された母校のサッカーグラウンドに訪れた事はありましたが、30年振りのキャンパスでした。医療系の学舎があり少し手狭に感じましたが、当時のキャンパスそのままで大変懐かしく御縁を感じた次第です。プライベートでは、妻と子供2人の4人家族で、よくJリーグの試合を観戦に行きます。知り合いの選手が居る事もあり、家族皆で応援を楽しんでいます。趣味のゴルフは、休日にコースに出てリフレッシュしています。

さて、所属する商用車業界は、トラックが国内輸送の90%以上を担い、社会インフラを支える重要な役割を果たしています。自動車業界は100年に一度の変革期を迎えています。トラックは今後も国内物流に欠かせない存在です。

もし商用車業界に御興味ある方がいらっしゃいましたら、是非、お気軽にお声掛け下さい。

法学部 1994年3月卒業 田村 重和さん

令和6年8月25日に行なわれた第56回社会保険労務士試験に合格しました。将来は姫路市に事務所を構え、社会保険労務士として活躍したいと考えています。

社労士試験受験の動機は、将来雇用される側ではなく、自分の力で生活したいと思ったからです。そして、色々な情報を模索する中で士業の存在を知り、社労士は企業と顧問契約を結ぶ事で安定した収入が得られると考えた結果です。

一般的に社労士試験の合格率は6~7%です。一番合格率が低かった年は2.6%と決して簡単な試験ではなく、令和6年度試験の合格率は6.9%でした。

受験対策を開始したのは試験の1年3か月前で、最初は聞いた事もない言葉、法律ならではの言い回し等に大変苦労しました。勉強方法ですが、最初は過去問と教科書をひたすら反復し、過去問の正答率が上がったら教科書中心の学習に変えました。社労士試験は10科目あるため1冊200ページ程の教科書を10冊丸暗記する勢いで、端から端まで何周も読み込み、試験当日までに2,300時間勉強しました。試験当日は教科書にもなかった問題もありましたが、今まで得た知識を結び合わせて解き切る事が出来ました。

これから何かに挑戦したいと考えている方に、是非、士業の魅力を知って頂きたいです。

祝 社労士試験合格



人間社会学群 2025年3月卒業 宮崎 元汰さん



硬式野球部



柔道部



課外活動：体育会本部

特別指定強化クラブ

活動情報

硬式野球部



富岡 淳志 主将
(人間社会学群4年次)

硬式野球部は、阪神大学野球連盟2部西リーグに所属し、新4年生15名・新3年生6名・新2年生10名の現在31名で活動しています。4月からは新入部員18名を加えて約50名となります。

目標は、1部昇格です。この目標を果たす為には、2部西リーグ戦で優勝し、入れ替え戦出場決定戦で勝ち抜く必要があります。長年越えられない大きな壁をこの春季リーグ戦では必ず越えたいと思います。

昨年の秋季リーグ戦では、勝てば2部西リーグ優勝となる最終戦で敗戦し、7勝3敗の2位という結果に終わり悔しい思いをしました。この悔しさを胸にチーム一丸となり、日々の練習に励んでおります。

新4年生の多くは、入部時からリーグ戦に出場しており、この経験を活かしリーグ戦の大事な場面を常に想定し、緊張感のある練習を心掛けております。また、体が細く、まだまだ基礎的な力がない選手も多いので、冬季練習では、ウエイトトレーニングに力を入れ、力強いスイングと安定した守備力の向上をテーマに取り組んでおりました。

今後も、基本理念としている「人間力の向上」を忘れる事なく、野球を通じた「人間力」をしっかりと身に付け、卒業が出来るように大学生活を送ります。

この春季リーグ戦では、卒業生の皆様に良い御報告が出来るように頑張りますので、応援の程、どうぞよろしくお願い申し上げます。

柔道部



湯谷 拳士 主将
(人間社会学群4年次)

現在、柔道部の部員は21名で、週に6日約3時間の練習を行なっています。在籍生だけでなく、OBの方々もよく来訪下さるので充実した練習が出来ています。今後も、より質の高い稽古が出来るように努めます。

まず、女子の成績ですが、関西学生柔道優勝大会女子3人制の部で3連覇を達成しました。また、全日本学生柔道優勝大会でも、一昨年は3位入賞致しました。関西学生では四連覇を達成し、全日本学生での優勝に向け精進しています。

また男子は、関西学生大会では、最後の関門で全国大会に出場出来なかったため、次回は全国大会出場が成し遂げられるよう励んでいます。一昨年の兵庫県学生大会団体戦では準優勝、個人戦では1階級優勝しています。より良い結果が残せるように頑張ります。

悔いの残らぬ試合をする事が目標です。最後に勝利を逃す事が多い為、練習で見付けた強みを試合で発揮出来るよう稽古が必要ですし、練習に手を抜かず、日々100%出し切ります。そして、個人戦も団体戦もあるので、チームワークも大切にしたいと思います。

主将である私がチームの士気を上げる為、日々メリハリを付けた行動を致します。結果を残し、監督やOBの方々にも喜んでもらえるように頑張ります。



女子サッカー部



男子サッカー部



剣道部

女子サッカー部



岸波 優妃 主将
(人間社会学群4年次)

人工芝グラウンドやナイター照明、専用クラブハウス等、恵まれた環境の中で、試合を意識した練習に取り組んでいます。

部員数は19名で、平日は①18:00～②19:30～、休日にも試合や練習を実施しています。関西学生女子サッカーリーグ1部に所属し、2024年度の春季リーグでは6位、秋季リーグでは7位となり、入替戦に勝利して1部残留が果たせました。

これまでの成果に満足せず、更なる高みを目指しています。具体的には、関西学生女子サッカーリーグ1部での上位進出、全日本大学女子サッカー選手権大会での好成績を目標としています。

選手は、日常の練習や戦術の研鑽、そして、互いのコミュニケーションを深める事で、個々のスキルとチームワークの向上を図っています。また、今後の女子サッカーを盛り上げる為に交流会に参加する等、活動の幅を広げています。

上記のような努力の背景には、諸先輩から受け継がれた温かい支援と応援が大きく存在しております。その助けが、現役選手にとって何よりの励みとなっています。今後も、皆様方からの変わらぬ御支援を胸に、伝統を受け継ぎながら、更なる飛躍を遂げるべく、選手一丸となって邁進して参ります。

男子サッカー部



東尾 翔太 主将
(人間社会学群4年次)

現在、約30人のメンバーで活動しており、2024年度は7人が新加入してくれました。週6日の活動を通じて、基礎トレーニングを始め、筋力トレーニング・体力トレーニングなど、個々の能力向上に力を入れた練習や、戦術理解を深め、チーム全体での連携に力を入れた練習等に取り組んでおり、日々成長を実感しています。

チームの雰囲気は年々向上しており、選手間で互いに高め合い、切磋琢磨出来る環境です。他の大学に引けを取らない綺麗な人工芝のグラウンドがある事で、最高の環境で最高のトレーニングが行なえています。

2024年は、関西3部リーグ4年目となりますが、これまでの悔しさを胸に、次こそは「関西2部リーグへの昇格」を叶える為、チーム一丸となって戦います。また、長期的な目標としては、関西1部リーグに定着する事です。関西1部リーグで安定した成績を残す為には、更にチーム力を強化し、個々のレベルを引き上げる事が不可欠です。

今後も、日々の努力を惜しまず、目前の目標を1つずつクリアしながら、長期的なビジョンを見据えて取り組みます。卒業生の皆様、今後とも変わらぬ御支援をよろしくお願い申し上げます。

剣道部



上村 拓文 主将
(人間社会学群3年次)

男子10名・女子4名で、岩崎監督・河村監督の下、日々黙々と稽古に励んでいます。昨夏は猛暑を避け、空調の効く外部施設で3日間の通い合宿等を行ない、自分の限界に臨み、心身共に大きく成長した事が実感出来ました。苦しい稽古を部員同士が励まし合い協力して乗り切った事で、互いの信頼関係や結束に繋がりました。

2023年度の試合結果としては、若木杯争奪関西学生大会で、男子5人制の部第三位、医歯薬大会では吉廣莉月(4年次生)が個人準優勝しました。しかし、他の大会では序盤敗退が多く、稽古の成果が出し切れないままで悔しさが残ります。しかし、多くの反省すべき点を改善し、次の試合への糧にし、目指す剣道を身に付け、全力で戦える力を付けたいと強く感じました。今後は、前年度果たせなかった全日本学生剣道選手権大会への出場を目標に、過去あまり出来ていない他大学との練習試合・市民大会等への積極的な参加を予定しています。

剣道人口減少に伴う部員の減少には悩まされますが、剣道は少人数でも己に打ち勝つ努力を重ね、日々成長し人間形成をする競技です。姫路獨協大学剣道部の部員として、引き続き、礼儀正しく活動を続けていきますので、変わらぬ御支援を賜りますようお願い致します。



男子バレーボール部



女子バレーボール部

男子バレーボール部



平松 大知 主将
(人間社会学群4年次)

卒業生の皆様、日頃の御支援・御声援を心より感謝申し上げます。
 現在バレーボール部は関西リーグ3部に所属しています。昨季の秋季リーグでは惜しくも2位という結果で、残留致しました。
 今後の目標としては、今季の春季リーグ戦全勝優勝で、2部昇格を目指しています。また、秋季リーグ戦では1部を目指します。リーグ戦の他にも、西日本インターカレッジで良き成績を残し、姫路獨協大学初の全日本インターカレッジ出場を目指します。新チームの始動で、まだチームとしての団結力が欠ける部分がありますが、全員の力を合わせ、過去にない結果が残せるように練習に励みます。
 最後になりますが、卒業生の皆様の応援が私達の大きな力となっています。先輩方が築いて下さったこのチームの伝統と誇りを胸に、一戦一戦全力で戦って行きます。今後も、より強く、そして愛されるチームを目指し、日々努力を続けて参りますので、引き続き温かい御支援を頂けると幸いです。

女子バレーボール部



藤原 樹果 主将
(人間社会学群3年次)

現在、部員が17名。数年前までは大会を棄権するような非常に厳しい時期もありました。関西大学バレーボールリーグは1~7部構成ですが、その時期は4部への自動降格となり、戦績も低迷しておりました。
 2年前に指導者として、元全日本男子バレーボール（北京オリンピック出場）の山本隆弘氏を迎え、フィジカル・メンタル面の強化に加え、最新の戦術を導入し、昨季は3部昇格を果たしました。トップレベルの指導は要求されることも難易度が非常に高く、私達もその要求に応じるのに毎日必死ですが、2025年度春季リーグ戦では2部昇格を目標に掲げ、日々練習に励んでおります。
 良い戦績を挙げ続けるのも大事ですが、より大切にしているのは、地域から応援されるチームである事です。その活動の一環として、年3回、地元の小学生・中学生を本学へ招待しバレーボール教室を開催しております。特に、地元チームを招待しての姫路獨協大学杯の開催を計画しております。
 クラブ活動を通じて、地域貢献出来るチームを目指し、今後も精進して参ります。先輩方からの温かい御声援を賜りますよう、今後ともよろしくお願い致します。

課外活動について

体育会は、全国レベルの強豪も活躍している団体を核に、多様なクラブ・サークルが存在しています。
 同窓生の皆様方が所属なさっていたクラブ・サークルの応援、改めて、お願い申し上げます。

- 学友会本部
- 体育会本部
- 同好会
- 志湧祭実行委員会
- 文化会本部
- 愛好会

「課外活動」はこちら▶



人生の 新人のつもりで



医療保健学部 山本 洋之 先生

定年という形での退職ですが人生そのものとしてはまだまだ新人で、これからがデビューのつもりでの3月となりました。

気が付けば着任して14年余りが過ぎ、理学療法士としての経験は通算34年ですから、結構な期間を医療保健学部の7階に居た事になり、何とかやって来られたのは、本当に色々な学生が居た事に尽きるかと思います。ただ、そんな環境に埋もれてしまうと、最初の頃の意欲と持続力が低下して来た事で、時の過ぎるのがどんどん速くなり、周りの景色が変わるのを眺めている時間が多くなった事…。また、後半1/3の期間がCOVIDとなり、学会の多くが見送られZoom等が多くなった事、海外の学会も同様にZoom開催となり当方の英語力ではとてもではないが討論に参加出来る筈もなく、学術的にも最後は進歩がなかった事が悔やまれます。そして、その頃より大学の内外の環境も急激に変化してきました。

気が付けば介護保険証が届き、否応なしに年齢を感じずにはいられませんが、70歳は「お迎えが来た時は、まだまだ早いと云え」ですし、「六十・七十は働き盛り」の名言にあやかって、渋沢栄一とはこれからも深く付き合っていきたいと思う今日この頃です。ですので、退職と言いつつもまだまだ新しい世界に挑戦していきたいものです。

最後に、私の研究室からは競馬場はよく見えるのですが、姫路城が見えない事がちょっと残念でした。

訃 報

鳥谷部 平四郎 先生

2024年1月 御逝去

山田 幸宏 先生

2024年12月16日 御逝去

謹みて御冥福をお祈り申し上げます。

2025年度
獨協
講座

姫路獨協大学は、地域の皆様の学びの場として、「獨協講座」が開講されています。大学の特性を活かし、外国語・教養・健康等、幅広いジャンルの講座が取り揃えられ、興味・知的好奇心に応えて貰えるはずです。卒業生・修了生の皆様は、受講料が1割引となります。

申込締切日 通年・春講座：4月17日(木) 夏講座：5月19日(月)

お問合せ 地域連携課 TEL 079-223-9258 (平日9:00~17:00)

講座会場・時間・受講料等詳細については、大学HPの「地域連携(公開講座)」で御確認下さい。
また、10月開講の冬講座は、9月上旬頃に告知予定です。

<https://www.himeji-du.ac.jp/region/openlecture/>

「地域連携(公開講座)」はこちら▶



外国語フェスティバル

2024年度：中国語スピーチ大会実施の報告とお礼

人間社会学群 田村 祐之先生

毎年12月に開催の国際言語学類・外国語学部主催の中国語弁論大会は、2024年度は「中国語スピーチ大会」として、5年振りに対面で開催致しました。



参加者4名で、12月10日(火)に実施しました。中国語学習歴2年以内が対象の「自己紹介の部」と、学習歴3年以上が対象の「学生生活紹介の部」に分けて発表して貰い、石曉軍特別教授と田村祐之が審査に当たりました。

参加者には緊張も見られましたが、皆、日頃の学習成果を如何なく発揮しました。入賞者は以下の通りです。括弧内は「学生生活紹介の部」での題目を日本の常用字体で示しました。

- 第1位** 中嶋 理咲(学生生活紹介の部)「奥地利旅行」
- 第2位** 三輪 文花(自己紹介の部)
- 第3位** 岩井 愛佳(自己紹介の部)

また、入賞者には、同窓会からの同窓会賞を授与させて頂きました。本弁論大会の開催を御支援頂き、誠にありがとうございました。

第5回 学内韓国語作文コンテスト 入賞者作文コンテスト

人間社会学群
中村 麻結先生

1年生から4年生まで20名の応募がありました。

短期語学研修や交換留学における様々な体験、本学に交換留学に来た留学生との交流、教員や授業の思い出、学習における座右の銘、ノーベル賞作家について等々、感性豊かに執筆されていました。



入賞者の内訳は次の通りです。(2024年度時の学年)

- 最優秀賞** 野澤 恭子(4年次)
- 優秀賞** 樋渡万里子(4年次)・小原紫陽花(4年次)
藤岡 凜子(2年次)
- 敢闘賞** 松平 彩名(4年次)・大本侑衣梨(4年次)
氏房 郁乃(4年次)・守屋 奈保(4年次)
中丁 源貴(2年次)
- 審査員特別賞** 増田 優花(1年次)・岩井 愛佳(1年次)

留学制度

交換留学

一年間の交換留学を通して

国際言語文化学類4年次 田中 彩音さん

私は3年次の春に、自身の語学力の向上と異文化を肌で感じ学ぶ事を目的に、韓国へ一年間の交換留学の為旅立ちました。

見知らぬ土地、知り合いも居ない今までと全く違った環境で一年間生活する不安と、これから待ち受けている出来事への期待に胸を躍らせ、韓国へ飛び立ちました。当初は適応に必死で大変でしたが、現地の友達を作る事で韓国語を話す機会を増やし、自らの語学力向上を目指しました。

サークル活動ではMTという親睦を深める合宿に参加したり、スポーツ・娯楽を通じての交流等、新しい経験をやる機会が増えました。時には非日常的な場所である北朝鮮と韓国の境界付近にも訪れ、日本では見る事の出来ない景色を味わう事が出来ました。

この一年間の留学を通して、自分でも語学力が向上したと実感出来ます。また、自身の行動力が必要となる環境で過ごせた為、経験の全てが自身の成長へと繋がったと感じます。この留学で多くの人との関わりを大切だと感じた事はもちろん、新しい事に挑戦しようとする探求心、そして、留学で磨かれた行動力は、今後の生活でも大きく影響するはず。貴重な経験から得た事を忘れず、自身の成長に繋がりたいと思います。



語学研修

短期語学研修：韓国

国際言語文化学類3年次 藤岡 凜子さん

2024年8月に3週間、韓国に短期語学研修に参加しました。私自身韓国語の勉強が大変好きで、大好きな韓国語を現地に行って学べる事は、この上ない嬉しい事でした。海外渡航は初めてだったので、緊張もありましたが、それよりも期待のほうが大きかったです。

授業は全て韓国語で、解らない事でさえも韓国語で尋ねなければならない環境に、最初は挫折しそうでした。一つ下のレベルのクラスに変更しようかと迷った程でしたが、新しい事が学べる良いチャンスだと思い、変更せず最後までやり抜く事が出来ました。3週間で、韓国語の実力が伸びただけではなく、「諦めず最大限の力で最後までやり切った」という自信も得る事が出来ました。

ネガティブな性格の私は、物事を始める前から心配な気持ちになり、足が踏み出せない消極的な性格でした。しかし、この経験のお陰で、失敗しても大丈夫だから、まずはやってみる！という積極的な考えに変える事が出来ました。

この韓国での経験を今後の大学や社会での生活に活かし、自分がやりたいと思った事には何でも挑戦したいと考えています。自分を変えてくれたこの3週間の出来事は、間違いなく人生の大きな転機となったと言えます。



留学仲間と一緒に…。(左から2人目)





獨協大学同窓会近畿支部の集いに参加しました

姉妹校である獨協大学同窓会近畿支部の集いが、3月2日(日)大阪市内のホテルで行なわれました。獨楽会から、武本錠治会長・霞末浩二副会長・鈴木勝副会長・中野勝史理事の4名が出席しました。

この集いは、近畿圏内に在住・在勤している獨協大学卒業生を対象に、卒業生同士の親睦と交流を目的として年一回開催され、男女問わず幅広い年齢層の方が参加して盛大に開催されています。

例年、姫路獨協大学同窓会もお声掛け頂き、今年も獨大同窓生の皆様方と交流を図りながら、同じ獨協学園の卒業生として、互いの大学時代の話から今後の大学の在り方に至るまで幅広く意見交換が叶いました。また、母校を思う気持ちと獨協学園OBの繋がりに、心が和らぐ温かいひと時を過ごせました。

今回も、お声掛け頂きました近畿支部代表：柘植様並びに、いつも温かく迎えて下さる獨大近畿支部の皆様に変更して御礼申し上げます。



ファミリー専願入試

合格者には、合格時点で「ファミリー制度」が適用され、支援金が支給されます。最新情報は、受験生応援サイトにて御確認願います。



FROM獨楽会

【招集のお手伝い致します！】

獨楽会では、同期会・ゼミ会・OBOG会の招集をお手伝い致します！

お気軽に、事務局までお問い合わせ下さい。詳細は、獨楽会HPにて、御確認願います。

また、同期会・ゼミ会・OBOG会の開催に当たり、支援を致しております。こちらも、お気軽に、お問い合わせ下さい。

問い合わせは…獨楽会事務局 <https://www.hdud.gr.jp/>

【獨楽会からの発信！】

大学情報等、Facebook等を通じて御紹介しています。

同期会・ゼミ会・OBOG会等の告知でも、御利用頂ければと思います。

同窓生の皆様方の拠り所として、是非、獨楽会を御活用下さい！

【獨楽会からのお願い】

◎求む！同窓会運営委員：同窓会の運営をお手伝い頂けませんか？

2か月に1度のペースで、運営委員会を開催致しております。御協力、よろしくお願い致します。

○会報への寄稿

同窓会報への寄稿、お待ち致しております。

近況報告はもちろん、同期会・ゼミ会・OBOG会の開催等、何でも、寄稿頂ければと思います。

◎御注意を！：獨楽会では、名簿業者との提携はしておりません！

獨楽会や大学関係者を装い、同窓生の皆様にお問い合わせや勧誘があるようです。電話による各種調査も一切実施しておりません。もし、不審な問い合わせ等がありましたら、事務局まで、お知らせをお願い致します。

○住所変更について

転居・住居表示等の変更、また、就職・転職をなさったら、事務局までお知らせをお願い致します。

頂いた情報は、キャリアセンターとも協力して、後輩の就職活動に、役立たせて頂いています。確実に、同窓会報をお届けする為にも、御協力の程、よろしくお願い申し上げます。

編集後記

同窓生の皆様方に、お伝えせねばならぬ事、あるように思うのですが…。

またの機会に、是非！と存じます。総会にてお話を致しましょう！ (姫獨協子)

2025年度

第29回

獨楽会総会・交流会

第28回 姫路獨協大学同窓会 総会

日時 2025年6月7日(土)

総会 11:30～受付・12:00～開始

交流会 13:00～開始

会場 姫路キャッスルグランヴィリオホテル 2階 松竹の間

会費 交流会 3,000円

但し、2025年3月卒業・修了の新会員は無料

また、同窓生子女も無料

上記の通り、獨楽会総会・交流会を開催致します。

総会・交流会共に、出欠確認は、下の二次元コードから登録をお願い致します。また、近況報告もお願いしたいと存じますので、欠席の場合でも、サイト訪問をして頂ければ幸いです。

交流会は、名刺交換会がてら、御参加下さい。軽食の提供を致します。

2025年3月は、卒業記念パーティーが開催されませんでした。新会員の皆様方には、是非、御来訪頂きたいと思っております。

それでは、情報拡散・万障繰り合わせての御参集、心より、お願い申し上げます。

問い合わせ先

情報拡散、大歓迎!

姫路獨協大学同窓会 獨楽会

〒670-8524 姫路市上大野7-2-1

E-mail: honbu@hdud.gr.jp



2024年度 交流会の様子

井上清美先生の御来訪！

2024年度：6月8日開催の獨楽会総会に、学長の井上清美先生が御来訪下さいました。総会から交流会まで、御臨席頂きました事、感謝申し上げます。

(2024年度交流会にて
ヨーヨーパフォーマンス披露の
2015年卒：山下諒氏と)

